



茅ヶ崎市教育センター
Chigasaki Educational Center

子どもたちのために
ともに教育環境を考える
教育センターの教育情報誌

第3号

平成24年3月31日発行

学びあう響きあう

教育センターのあゆみ3年目に向けて

教育研究・教育研修・教育相談の充実をめざして

茅ヶ崎市教育委員会では、平成23年度から10年間にわたる本市の教育推進プラン「茅ヶ崎市教育基本計画」を策定し、実施しています。「学びあい響きあう茅ヶ崎の教育」を合言葉に、教育センターでは、茅ヶ崎の明日を担う子どもたちの育成に寄与することができるよう教育の充実及び振興のために必要な「教育研究」

「教育研修」「教育相談」の推進を図ります。

学校教育と社会教育を含めた次世代の育成にかかわる事業の展開、連携の推進を行ってまいります。また、教育情報の拠点として、子どもから大人まで、生涯に渡って豊かな人間性と自律性をはぐくむことをめざし、教育関係者や広く市民や保護者の皆さん

が学ぶ場を提供していきます。

平成24年度は、教育センターとして3年目となります。学習などに関する調査研究とともに、家庭教育や幼児期の教育に関する基礎研究を推進し、子育て・子育てを支援する出前講座(P.2)を市内各地域で開催します。そして、青少年教育相談(P.6)については、児童・生徒の自律性をはぐくむ支援ができるよう努めてまいります。

平成24年度の講座・講演会の予定

次世代の育成 家庭教育・幼児期の教育に関する基礎研究・研修の推進

茅ヶ崎市教育センターでは、幼児期の教育に関する基礎研究をととして、子育て・子育て、家庭教育に関する情報を発信しています。平成24年度の講座や講演会などの予定をお知らせします。皆様の参加をお待ちしています。

会場が市役所または青少年会館（教育センター）の講座等（日付順）

名 称	日 時	講師・内容等
第3回 乳幼児期の 子育て・子育て講座	6月25日（月） 10時から12時	講師 坂上裕子氏（青山学院大学准教授/専門分野:発達心理学） 内容 「親子で共に育つ～2歳児の反抗期と親の葛藤（仮）」という演題での講演 会場 市役所分庁舎6階コミュニティホール
第2回 響きあい教育 シンポジウム	7月31日（火） 9時30分から 12時	講師 遠藤利彦氏（東京大学大学院准教授/専門分野:発達心理学） 芳川玲子氏（東海大学教授/専門分野:臨床心理学） 内容 ①講師2人による乳幼児期と思春期に関する講演 ②講師2人と本市教育長による鼎談（ていだん） 会場 市役所分庁舎6階コミュニティホール
平成24年度第1回 幼児教育研修会	8月7日（火） 15時から17時	講師 内田伸子氏（お茶の水大学名誉教授/専門分野:発達心理学） 内容 「子どものウソは『嘘』か？～子どもの創造的想像力を育む大人の役割」という演題での講演 会場 市青少年会館ホール
第4回 乳幼児期の 子育て・子育て講座	10月15日（月） 10時から12時	講師 野田淳子氏（東京経済大学専任講師/専門分野:発達心理学） 内容 講演 演題調整中 会場 市役所分庁舎6階コミュニティホール
茅ヶ崎市教育講演会	1月26日（土） 10時から12時	講師 香山リカ氏（立教大学教授/専門分野:精神病理学） 内容 講演 演題調整中（子育ての心理・青年期の心理など） 会場 市役所分庁舎6階コミュニティホール

- *対象：市民・保護者・保幼小職員・市関係職員
- *広報茅ヶ崎、市ホームページ等で改めてご案内します。
- *申込方法：後日ご案内するチラシ兼申込用紙によりお申込みください。



平成24年度新企画！！

市立保育園を会場とした

乳幼児期の子育ち・子育て 出前 講座

平成23年度に新規開催した「乳幼児期の子育ち・子育て講座」を出前講座として開催します。会場となるのは、市立保育園 6園です。子育て中の市民の方々にとって、より身近な場所で講座を開催する新企画です。講師の先生のお話を聞き、参加者のみなさんとの交流の時間を設ける予定です。みなさんのご参加をお待ちしております。

会場：市内公立保育園 ／ 共催：保育課・市立保育園

日 程	会場保育園	講師・内容等
4月28日(土)	市立浜見平保育園	講師 遠藤利彦氏(東京大学大学院准教授/専門分野:発達心理学) 内容 「乳幼児期における子育ち・子育ての基本について考える」という演題での講演
5月26日(土)	市立鶴が台保育園	講師 須永美紀氏(立教女学院短期大学専任講師/専門分野:保育学) 内容 「見つけよう！味わおう！子どもの成長」(仮)という演題での講演
6月23日(土)	市立香川保育園	遠藤利彦氏(同上)
10月27日(土)	市立浜須賀保育園	遠藤利彦氏(同上)
11月24日(土)	市立小和田保育園	須永美紀氏(同上)
2月23日(土)	市立室田保育園	講師 旦 直子氏(帝京科学大学講師/専門分野:発達心理学) 内容 「考えてみたい乳幼児期の子育て環境—情報と上手につきあおう—」(仮) 演題での講演

対象 市民・保護者等

時間 全会場10時から12時

定員 各会場30名(申込制・先着順)

託児 6か月より、定員10名(申込制・先着順)

内容 全講師 乳幼児期の子育ち・子育てに関するご講演と参加者の皆様との交流

申込 お電話にて受付けます；電話 0467-86-9965 教育センター研究研修担当

このほか、

平成24年度新企画！！「乳幼児期 から 思春期 の子育ち・子育て 出前 講座」も開催

平成24年度から新しく実施します。この企画は、市内19の小学校区青少年推進育成推進協議会(推進協)のうち、いくつかの推進協と共催し、開催する出前講座です。今のところ、3回シリーズを2地区にて行う予定です。

テーマは、「乳幼児期から思春

期の子育ち・子育て」です。乳幼児期と思春期がどのようにつながるのか？この2つの時期は、お子さんの様子が異なるのでつながりがイメージしにくいかもしれませんが、人の成長というのは、連続していて、積み重なっていくものです。

私たち教育センター研究研修

担当では、幼児期の子どもの子育ちを土台として、「乳幼児期から思春期の子育ち・子育ての基礎と基本は何か？」を一つのテーマとして、研究を進めています。

こちらの企画も、広報茅ヶ崎、ホームページ等で後日ご案内いたしますので、ご期待ください。

【研究研修担当】

平成23年度の幼児期の教育や家庭教育に関する 基礎研究を振り返って

平成23年度の幼児期の教育や家庭教育に関する講座や講演会等につきましては、次の表のとおり開催しました。幼児期の教育に関する基礎研

究に新たに取り組んでから、平成23年度に新規に企画したのは、「乳幼児期の子育ち・子育て講座」と「響きあい教育シンポジウム」でした。ど

ちらも子どもの成長や発達のを改めて学ぶと同時に、親としてのかかわり方や一人の大人としての成長について考える機会となりました。1ページでもご案内しましたが、平成24年度も開催します。

開催を終えた平成23年度の内容

名 称	日 時	講師・内容等
H23 New! 第1回 乳幼児期の 子育ち・子育て講座	平成23年 7月4日(月) 9時45分から 11時45分	講師 須永美紀氏(立教女学院短期大学専任講師) 講演 「共感」から見える乳幼児期の子どもの成長一子どもの「つながる力」を大切にして 会場 市総合体育館会議室
平成23年度第1回 幼児教育研修会	平成23年 8月24日(水) 15時から17時	講師 佐伯胖氏(青山学院大学教授) 講演 「驚くべき乳幼児の発達一幼保小連携に向けて」 会場 市青少年会館ホール
H23 New! 第2回 乳幼児期の 子育ち・子育て講座	平成23年 10月11日(月) 9時45分から 11時45分	講師 旦直子氏(帝京科学大学講師) 講演 考えてみたい乳幼児期の子育て環境一情報と上手につきあおう 会場 市女性センター大会議室
H23 New! 第1回 響きあい教育 シンポジウム	平成23年 11月12日(土) 9時45分から12時	シンポジウムテーマ 「他者への思いやり、自分を大切にする心～乳幼児期から思春期の子育ち・子育て、一人の大人として」 講師 遠藤利彦氏(東京大学大学院准教授) 芳川玲子氏(東海大学教授) (専門分野:臨床心理学) 内容 ①講師2人による乳幼児期と思春期に関する講演 ・遠藤氏「乳幼児期の子育ち・子育てについて考える一思いやりと自律性の発達を中心に」 ・芳川氏「思春期の子どもの心・親としての接し方」 ②講師2人と本市教育長による鼎談 会場 市青少年会館ホール
平成23年度第2回 幼児教育研修会	平成23年 12月9日(金) 15時30分から 17時	講師 松本なお子氏(元浜松市立中央図書館館長) 講演 子どもの心をはぐくむ昔話の世界 会場 市青少年会館ホール
茅ヶ崎市教育講演会 *詳細はP.4*	平成24年 1月28日(土) 9時45分から 11時45分	講師 中川志郎氏(日本動物愛護協会理事長・元上野動物園園長) 講演 慈しみはぐくむ動物の子育て一動物の子育てに学ぶ 会場 市勤労市民会館6階A研修室
平成23年度 第2回 響きあい教育セミナー	平成24年 2月19日(日) 10時から12時	講師 大河原美以氏(東京学芸大学教授) 講演 子どもの自立と親の葛藤一思春期の子どもたちが求めていること 会場 市青少年会館ホール

平成 23 年度のトピック 茅ヶ崎市教育講演会を振り返って

ここでは、平成 23 年度茅ヶ崎市教育講演会の内容を振り返り、研究研修担当としての所感を綴ります。

講師 中川志郎氏

日本動物愛護協会理事長

元上野動物園長

演題「動物から学ぶ

生き方のヒント」

中川先生は、上野動物園に獣医としてご勤務され、多くの動物の出産や育児にたずさわってこられました。そのご経験をもとにお話されたことは、「人が生まれ育つ、そして育てる」という根本の意味を問い直し、まさに「子育ての極意」だと感じました。ご紹介します。

【講演内容要約・抜粋】

哺乳類では、赤ちゃんがお腹にいる時には、お母さんと「へそ綱」(へその緒)でつながっています。まさに命綱です。そして、生まれて「へそ綱」が切れた後は、抱っこしてもらうことで親子の「心の綱」が生まれます。この2本の綱がより合わさって、1本の絆になるということです。哺乳類として進化の過程で生み出されたこの「母子の絆」は、哺乳動物である「人」でも変わることなく、生涯の礎になります。こうした母子の生物学的なつながりがあってこそ心の絆が生まれ、「人」になります。

また、お母さんが子どもと紡ぐ絆をより太くつなげ、支えるのがお父さんの役目です。

一方、3世代がともに暮らし子育てするのは人だけで、それは人間の出産と生まれた直後の育児がとても大変であるという特徴によるものです。人は生

まれて約1年間、身体の成長という面で、一人ではできないことが多いです。つまり、お母さん、お父さんといった家族の献身的な援助がなければ生きてはいけません。でも、生まれてからこの1年間の家族の親密な営みが、人間となるための「人への信頼」をはぐくむ時期として、進化の神様が人に与えたのでしょ

う。子どもは、家族の絆をもとにした安心感があるからこそ、好奇心が生まれます。安心感が支えとなり、自分の力で行動範囲を広げ、さまざまなことを学習していくのです。

さて、教育というのは、人間に特徴的な行為です。自分の中に経験として蓄積されたことを教育という営みの中で普遍化し、伝えていきます。こうして文化が生まれてきたのです。教育は文化の父であり、母であります。

最後に、印象的な言葉を2つ。1972年、マザー・テレサにノーベル平和賞受賞インタビューで「世界平和のためにわれわれは何をなすべきでしょうか」と尋ねました。すると、「家に帰って、ご家族にやさしい言葉をかけてあげてください...」と答えました。

そして、アメリカの人類学者A. モンタギューは愛の本質についてこう述べています。

「愛は教育によってそれを学ぶのではなく、愛されることによってのみ、愛することを学ぶのである」

さらに中川先生は、ご著書の中で、「人間の場合、600万年という長い進化の歴史の中で培われた育児のあり方は、いかに文化を持ち、文明社会をつくったからといって、安易に変えることはできないのである。」と述べています。(中川志郎, 2008, 「パンダは舐めて赤ちゃんを育てる」, ワック株式会社, p.84-100) こういう意味でも、幼児期の教育の根本ともいえる内容を中川先生からお話いただきました。

さて、幼児期の教育の研究を進める中で、思春期へのつながりも研究しています。

思春期も、人にしかない極めて特徴的な成長の時期かもしれません。独立心とまだ依存したいという正反対の心に自分自身が揺さぶられながら、自分という存在にとっても自信が持てなくなる時期です。

生れて間もない人の子育ての特徴の1つが3世代同居であるなら、成長の複雑さから言えばやはりそれは思春期にも必要なことかもしれません。しかし、色々な事情で、親子でこの思春期を乗り切るといのが現実の家族の状況です。思春期の子どもに向かい合うということは、親である自分、教師である自分など、大人が自分を変えなくてはならないことかもしれません。大人自身が、子育ての喜びと葛藤という両極にある心をどう抱えていくのか。そして、学校や地域の大人たちがともに力を合わせながら、3世代同居と同じような支えをどのように生み出していくのか。

子育てと教育の奥深さを感じた講演会となりました。

【研究研修担当】

茅ヶ崎市小学校中学校 創意工夫・研究作品展のお知らせ

New!! 平成24年度 第41回 作品展のご案内

平成24年度は、第41回を迎えます。小・中学校の先生方が中心となって運営し、各学校をととして作品を募集します。茅ヶ崎市在住、在学であれば、私立の小・中学校に通う児童・生徒の作品も受け付けています。

作品展の開催日時・会場

- 9月7日(金)・8日(土)・9日(日)の3日間
いずれも9時から17時まで
- 茅ヶ崎市青少年会館
(十間坂三丁目5番37号
; 梅田中学校前)

2 つ の 部 門

作品展には2部門あります。

□ 創意工夫作品部門

普段の遊びや生活の中から、こんなものがあつたらいいなと思うことを工夫して作り出したもの。

□ 研究作品部門

理科的な内容や社会的な内容など、観察や実験、調査したものをもとめたもの。

作品応募の手順

- ① 夏季休業を利用して創意工夫作品を製作、または自由に課題を選び研究します。
- ② 作品は各学校の担任の先生に出品します。茅ヶ崎市在住、在学で私立の小・中学校に通う児童・生徒の皆さんは、直接教育センターに出品します。
- ③ 各学校と教育センターで事前選考があり、事前選考で選ばれた作品が、作品展に出品されます。
詳しくは、6月下旬に市ホームページで紹介します。

平成23年度 第40回 作品展の様子

「不思議と驚きから そうぞうタマゴ 想像と創造のころ」

第40回作品展テーマは、“不思議と驚きからそうぞうタマゴ想像と創造のころ”。素敵な作品が集いました。

東日本大震災の後の作品展ということもあり、防災やエコロジーをテーマにした創意工夫作品、研究作品が多く出品されました。出品作品数は、創意工夫作品部門235作品、研究作品部門274作品、合計509作品でした。作品展審査会で、金・銀・銅・努力賞を選考し、展示されました。



↑ 創意工夫作品部門会場



↑ 研究作品部門会場

作品展は、平成23年9月9日(金)から11日(日)の3日間、市青少年会館で開催されました。3日間でご来場された方々は合計約2,700名ととても多くの方々にお越しいただき、40回記

念にふさわしい作品展となりました。特別記念展示として、これまでの作品集録や作品展の写真を展示し、長い歴史を振り返りました。

また、作品展の様子は、広報茅ヶ崎のケーブルテレビ「ハーモニアス茅ヶ崎」でも放映されました。

創意工夫作品部門優秀作品が、
「第70回神奈川県青少年
創意くふう展覧会」へ
さらに「第70回全日本学生
児童発明くふう展」へ

創意工夫作品部門優秀25作品が、第70回神奈川県青少年創意くふう展覧会(主催神奈川県/一般社団法人神奈川県発明協会)に出品され、結果は次の通りです。

☞ 神奈川県知事賞

「ブルブルサーキット」

東海岸小学校2年 渡辺颯大さん

☞ 日刊工業新聞社賞

「トイレットペーパーストック」

鶴嶺中学校2年 眞家宏輔さん

☞ 優良賞 4作品(4名)

☞ 努力賞 19作品(19名)

また渡辺颯大さん、眞家宏輔さんの2作品は、第70回全日本学生児童発明くふう展(主催社団法人発明工夫協会)に出品されました。

研究作品部門優秀作品は、 「第29回全国小・中学生作品 コンクール」へ

研究部門優秀27作品は、第29回全国小・中学生作品コンクール(主催子どもの文化・教育研究所)に出品され、結果は次の通りです。

☞ 【理科部門】

優秀賞

「夏を涼しくすごすための研究」
第一中学校2年 谷村万梨さん

☞ 奨励賞 26作品(26名)

【研究研修担当】

一人で悩まないで 相談してみよう

青少年教育相談室から

生活する中で、友だちとの関係に悩んだり、自分に対して否定的な感情を抱いたりすることは、誰にでもあることです。でも、その時はとても苦しく、自分を見失いそうになることもあります。

決して一人で悩まないでください。本センターの青少年教育相談室では、お子さん自身の悩み、保護者の方々の悩みに寄り添い、お力になりたいと思います。

各種相談を電話・面接（来所）で行っています。相談の秘密は守ります。お気軽にご相談ください。

面接は各相談電話で予約してください。

電話相談・面接予約

- 月曜日から金曜日
（休日及び年末・年始を除く）
- 昼間：9時から17時
各電話で受け付けます。
- 夕方：17時から18時
電話：0467-86-9963 で受け付けます。

相談スタッフ

青少年教育相談員
（臨床心理士・教職経験者等）

相談の方法と内容

1 電話相談

【一般教育相談・青少年相談】

電話：0467-86-9963・9964
勉強や進路のこと、親子関係、非行や将来への不安などの悩み。

【「こころ」の電話相談】

電話：0467-57-1230
学校に行きたくても、行くことができない。すぐにいらした、落ち込んだりする。お子さん

の不登校などにどう対処したらよいかという悩み。

【「いじめ」電話相談】

電話：0467-82-7868

「いじめ」の場面を見たり聞いたりした。「いじめ」への対処をどのようにしたらよいかなどの悩み。

【特別支援電話相談】

電話 0467-86-1062

お子さんに友だちができない、落ち着きがない、学習のつまずきがあるなどの悩み。



2 面接相談

電話 0467-86-9963・9964

（予約制）

いじめ・不登校など、電話では相談しきれない内容やじっくり時間をかけて相談したい内容について、専門の相談員が、問題解決に向けて一緒に考えます。継続的な相談に応じています。電話で予約をしてください。



3 小・中学校要請教育相談

「2 面接相談」を受けている小・中学生を対象として、保護者の要請により、専門の心理相談員が学校を訪問します。子どもの様子を把握し、学校の先生も交えて相談を行います。

不登校児童・生徒訪問相談

不登校あるいは不登校傾向にある小・中学生のご家庭に、お兄さんやお姉さんのような年代の訪問相談員が訪問し、相談を行っています。相談員が気軽な話し相手、相談相手となり、子どもの生活状況の改善をめざし支援をしています。

あすなろ教室入室のご案内

学校に行きたくても行かれない小・中学生の皆さんが、心を休め、自分らしさを大切にしながら学べる場所です。お子さんが学校に戻って楽しい学校生活が送れるようにお手伝いします。

通室生は、自分らしさを大切にしてゆくりと自分の生活を作り上げながら、集団生活に対する自信を深めることをめざして活動しています。

一人ひとりが課題を決めて自分のペースで学習を進めるだけでなく、ゲームや体験学習といった興味ある楽しい活動を通して視野を広げ、人間関係を作り上げる力を養っていきます。

各小・中学校の

心の教育相談室

名称は様々ですが、各小・中学校に子どもたちが自由に利用できるホッとできる空間（部屋）があります。そこに、週3日、心の教育相談員がいて子どもたちの話し相手や、ちょっとした相談を受けています。子どもたちの悩みやストレスを早期に発見・対応し、安心できる過ごしやすい学校生活を提供できるように努めています。また、月に数回、スクールカウンセラーという専門の心理カウンセラーが勤務します。子育てや教育に関する相談を受けています。相談希望のある保護者の方は、学校にご相談ください。

【青少年教育相談担当】

編集担当／茅ヶ崎市教育センター

☎ 研究研修担当

☎ 0467-86-9965

☎ 青少年教育相談担当

☎ 0467-86-9963

茅ヶ崎市十間坂三丁目5番37号

（市青少年会館3階）

URL <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/13286/index.html>

